

令和 7 年度 晃陽中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

(1) 基本目標

「人間尊重の精神」を基盤として，心身ともに健康で知・徳・体の調和のとれた，心豊かでたくましく，未来を拓く生徒を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

たしかな学力をもつ生徒 豊かな心をもつ生徒 強い体力・気力をもつ生徒

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「生徒が安心して力を発揮できる学校」

生徒一人一人の自らの良さや力に気付かせ，それらを伸ばしていく指導をもとに確かな学び，豊かな心，健やかな体を育む教育活動の充実を図る。また，それらを通して時代の変化に対応して未来を拓く力の育成を目指す。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 学業指導を充実し，生徒一人一人の自己実現に向けた主体的・協働的な学習の推進と，社会との関わりの中で自分の生き方を見つめ考えさせるキャリア教育の充実を図る。
- (2) 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と思考力，判断力，表現力の育成に加え，学力調査等の活用と学習習慣の確立による，確かな学力を育む学習指導を推進する。GIGAスクール構想の実現を目指し，1人1台端末の，より一層の有効活用を図る。
- (3) 生徒一人一人の人格を尊重し，自己有用感と思いやりの育成を積み重ね，困難を乗り越えるたくましさや夢や目標をもって社会に貢献しようとする豊かな心を育む教育を推進する。
- (4) 生涯にわたって健康で安全な潤いある生活が送れるよう，健康教育と安全教育の充実を図り，強い体力・気力を育む教育を推進する。新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症などについて正しく理解し，予防や対処など適切な行動が取れるようにするなど，健康で安全な生活を送れるよう指導する。
- (5) 共生社会の実現を目指すため，人権教育の充実とグローバルコミュニケーション能力の育成を図る。
- (6) インクルーシブ教育システムの推進に向けた特別支援教育の充実を図る。
- (7) 道徳科の授業の充実に努め，道徳的な判断力，心情，実践意欲と態度の育成に組織的に取り組む。
- (8) 「部活動の方針」に基づいた，適切な部活動運営を図るとともに，保護者や生徒，地域住民や指導者と丁寧な対話を重ねながら，部活動の地域連携・移行を進める。
- (9) 地域学校園小中一貫教育の推進と地域諸団体との連携，生徒の地域貢献活動の実践による，地域とともにある学校づくりを推進する。
- (10) 校内業務の適正化を図るなどして学校における働き方改革を推進するとともに，教育公務員としての使命と職責を自覚し，相互に高め合い学び合う協働的な同僚性の構築と，教職員の指導力と専門性の向上を目指す。

【育てたい資質・能力】

- ・小規模校の特性を生かし，多くの体験学習を通して自己有用感を育てる。
- ・コミュニケーション力を高め，生徒相互の多様な力を認め合い，共感的な人間関係を育てる。
- ・自己決定の場を設け，その実現に向けて粘り強く取り組むとともに，夢や目標をもって社会に貢献しようとする意欲と態度を育てる。

[晃陽地域学校園教育ビジョン]

「未来を見据え、地域と連携し、子どもが生き生きと学ぶ晃陽地域学校園」

4 教育課程編成の方針

教育基本法及び学校教育法その他の法令、学習指導要領に従い、宇都宮市立学校の管理運営に関する規則第7条に基づいた、「宇都宮市立小中学校の教育課程及びその編成の基準」を踏まえ、生徒の人間としての調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態及び生徒の心身の発達や特性等を十分考慮して、本校の教育目標を達成すべく適切な教育課程を編成するものとする。

さらに、中学校学習指導要領に示されている、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという理念を学校と社会が共有し、社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む「社会に開かれ教育課程」の実現を目指す。

加えて、保護者・地域への積極的な情報発信により、信頼される学校づくりに努め、学校と保護者・地域が協働して、生徒の能力の伸長を図る。

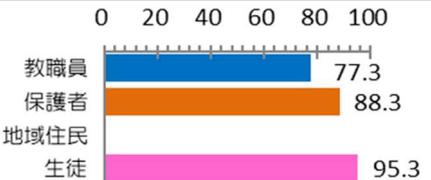
5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- (1) 学校運営 ○「生徒が安心して力を発揮できる学校」を基盤とした、学力向上、学校行事、各種領域等々、あらゆる教育活動の場面における、認め励ます教育の展開をとおしての、心豊かでたくましく、未来を拓くことのできる生徒の育成
- (2) 学習指導 ○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善と生徒の学習習慣の育成
- (3) 児童生徒指導 ○自己有用感を育てる生徒指導と個別支援の充実
- (4) 健康（体力・保健・食・安全）
○自他ともに健康で安全な生活を送ろうとする実践力の育成

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標（小・中学校共通、地域学校園共通を含む）

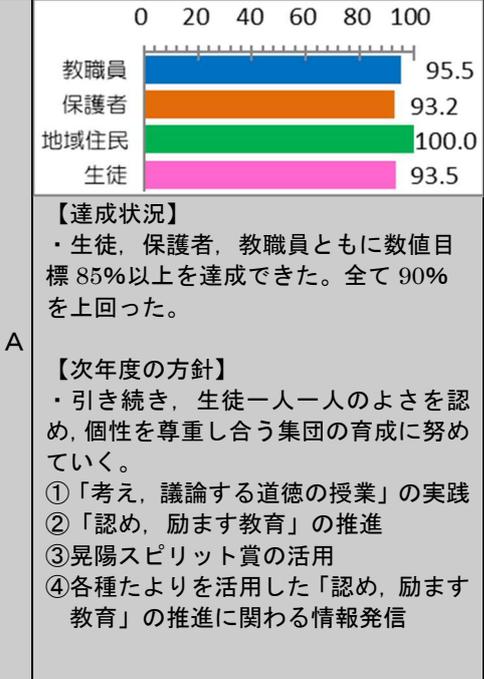
※「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所を下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1- (1) 確かな学力を育む教育の推進	<p>A 1 生徒は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 生徒・教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① キャリア教育と連携しながら、学習の動機付けを行っていく。</p> <p>② 宇都宮モデルに基づいた、分かる授業の実践や個別最適な学び、主体的な学びを実現するための授業改善を推進する。</p> <p>③ 振り返り、単元テスト、繰り返しの学習、パワーアップ学習等において、基礎的・基本的内容の定着を図り、自信をもたせる。</p> <p>④ 教師自身が ICT 機器を活用した学習指導の工夫に努める</p> <p>⑤ 各種学力調査等の結果を活用し、PDCAサイクルにのせてより効果的な指導法の工夫に努め、学習意欲の向上を目指す。</p>	B	<p>0 20 40 60 80 100</p>  <p>【達成状況】 ・生徒は、数値目標 85%以上を達成できたが、教職員は達成できなかった。生徒は 95%を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・各種学力調査の結果を吟味し、各教科の成果と課題を踏まえた指導の工夫に努めるとともに、ICT 機器の効果的な活用をはじめ、生徒の主体的な学びの実現に向けた授業の実践に取り組んでいく。</p> <p>①個別最適な学び、主体的な学びの実現 ②宇都宮モデルに基づく分かる授業の工夫 ③ICT 機器の効果的な活用 ④PDCA サイクルによる授業実践と改善</p>

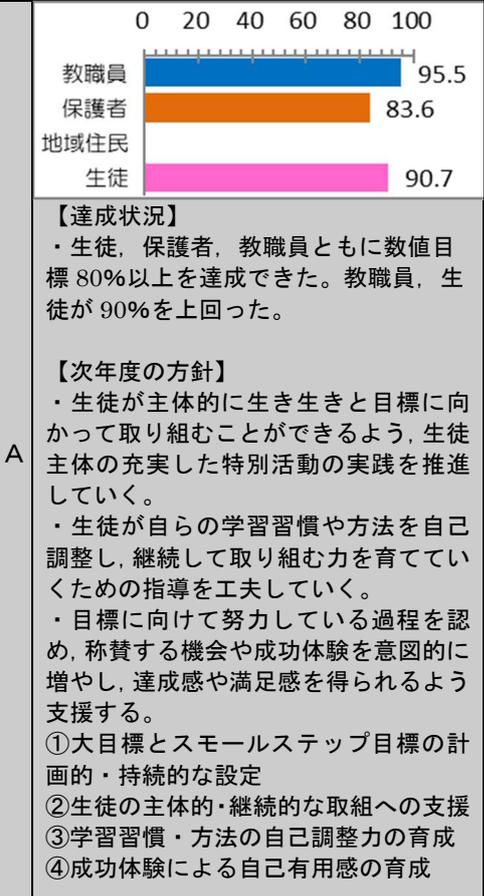
A2 生徒は、思いやりの心をもっている。
【数値指標】
生徒・保護者、教職員の肯定的回答 85%以上

- ① 道徳の授業で、「考え、議論する道徳」を展開し、生徒の道徳性を育てる。
- ② 授業や学校行事、生徒会活動において「認め、励ます教育」を推進し、より良い集団作りを目指す。
- ③ 晃陽スピリット賞を活用し、生徒の良い行いなどを認め称賛する機会を多く作る。



A3 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。
【数値指標】
生徒・保護者・教職員の肯定的回答 80%以上

- ① 短期での実現可能な目標設定と振り返りの充実を図ることにより、達成感・成就感を積み重ね、目標実現への自信をもたせる。
- ② 学級経営や学校行事等で、目標を掲げ協力して取り組む中で、意義を見いださせる。
- ③ 生徒主体の活動になるような特別活動の充実を図り、一人一人が目標をもって、主体的に取り組むことができるよう支援していく。また、継続的に取り組める活動を取り入れていく。
- ④ 学習指導において、自主学习をはじめ個別指導の充実を十分に図り、生徒一人一人が自分に自信をもてるような指導を工夫していく。



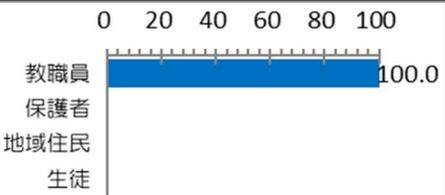
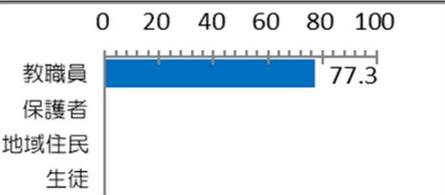
<p>1- (3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進</p>	<p>A 4 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 生徒・保護者・教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 健康診断や新体力テストの結果を活用し、自分の健康についての意識を高めさせる。 ② 自転車の安全な乗り方・交通マナーを常時指導で身に付けさせ、自転車事故ゼロを目指す。 ③ 安全指導を充実させ、「自分の身は自分で守る」意識を向上させる。 ④ 「保健だより」「食育だより」等を活用し、保護者への啓発も図る。</p>	<div style="text-align: right;">0 20 40 60 80 100</div> <p>【達成状況】 ・生徒、保護者、教職員ともに数値目標85%以上を達成できた。全て90%を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き健康教育や衛生指導の充実を図り、健康に関する意識を高める。 ・交通安全の系統的な指導を推進し、交通マナーや「自分の身は自分で守る」意識を向上させる。 ①健康診断や体力テスト等の結果の有効活用 ②交通安全指導の充実 ③各種たよりを活用した啓発活動の推進</p>
<p>1- (4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進</p>	<p>A 5 生徒は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 生徒、教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 将来の目標を段階的に計画し、その目標を達成するための手段を考えながら粘り強く努力するよう、きめ細やかな指導を行っていく。また、活動後の振り返りを充実させる。 ② 授業や学校行事、生徒会活動などを通じて、協働しながら課題解決できる場を設定し、「認め、励ます教育」を推進する。 ③ 自他の個性やよさを認め合い、自分の将来の目標設定に向かって努力できるよう支援していく。 ④ キャリアパスポートの有効活用を図る。</p>	<div style="text-align: right;">0 20 40 60 80 100</div> <p>【達成状況】 ・生徒、教職員ともに数値目標85%以上を達成できた。生徒、教職員ともに90%を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・自他の頑張りや取組を互いに認め合い、励まし合う中で、協働して課題を解決していける集団生活を支援していく。 ・学級活動や学校行事において、自他のよさを認め合い、協力できる機会を設定する。 ・生徒が自分の成長を実感できるよう「キャリアパスポート」の効果的な活用方法について、地域学校園内の小学校と連携を図りながら検討していく。 ①キャリアパスポートの有効活用 ②目標設定と振り返りの充実した取組 ③学級活動の充実 ④学校行事や生徒会活動における「認め、励ます教育」の推進</p>

<p>2- (1) グローバル 社会に主体 的に向き合 い、郷土愛 を醸成する 教育の推進</p>	<p>A 6 生徒は、英語を使って コミュニケーションして いる。 【数値指標】 生徒・教職員の肯定的 回答 85%以上</p>	<p>① 英語の授業のウォーミングアップやペア学習などで、英語を使ったコミュニケーション活動を取り入れる。 ② A L T とのコミュニケーションの場を多く取り入れ、生きた英語に触れる機会を充実する。 ③国際理解だよりを活用して、英語にふれる機会を創出する。</p>	<p style="text-align: center;">0 20 40 60 80 100</p> <table border="1"> <tr><td>教職員</td><td>95.5</td></tr> <tr><td>保護者</td><td></td></tr> <tr><td>地域住民</td><td></td></tr> <tr><td>生徒</td><td>84.1</td></tr> </table> <p>【達成状況】 ・教職員は、数値目標 85%以上を達成できたが、生徒は達成できなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ・対話的な学びの実践を通して、英語によるコミュニケーションの機会を充実させる。 ①授業のウォーミングアップやペア学習を取り入れたコミュニケーション活動の充実 ②生きた英語に触れる機会の充実 ③国際理解だよりの活用</p>	教職員	95.5	保護者		地域住民		生徒	84.1
教職員	95.5										
保護者											
地域住民											
生徒	84.1										
	<p>A 7 生徒は、宇都宮の良さを 知っている。 【数値指標】 生徒・保護者の肯定的 回答 80%以上</p>	<p>① 社会科、総合的な学習の時間を中心とした授業の中で、宇都宮に関連した話題を取り上げ、意識を高める。 ② 「宇都宮学」の確実な履修を促進し、宇都宮の良さに触れる機会を増やす。 ③ 各種たよりを活用して、「宇都宮学」等の学習の成果を発信する。</p>	<p style="text-align: center;">0 20 40 60 80 100</p> <table border="1"> <tr><td>教職員</td><td>86.4</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>82.8</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td></td></tr> <tr><td>生徒</td><td>87.9</td></tr> </table> <p>【達成状況】 ・生徒、保護者ともに数値目標 80%以上を達成できた。</p> <p>【次年度の方針】 ・「宇都宮学」をはじめとして、宇都宮や自分の住む地域の魅力に触れたり学んだりする機会を充実させる。 ①「宇都宮学」の確実な履修 ②「宇都宮学」の学びの成果の発信 ③地域の魅力に触れる機会の充実</p>	教職員	86.4	保護者	82.8	地域住民		生徒	87.9
教職員	86.4										
保護者	82.8										
地域住民											
生徒	87.9										
<p>2- (2) 情報社会と 科学技術の 進展に対応 した教育の 推進</p>	<p>A 8 生徒は、デジタル機器 や図書等を学習に活用し ている。 【数値指標】 生徒・教職員の肯定的 回答 80%以上</p>	<p>① ICT や図書館を活用する機会を年間指導計画に位置付け、実践していく。 ② ICT 機器や図書を活用する機会を計画的に取り入れ、授業での思考力を育む活動や調べ学習、まとめの学習など職員間で共有しながら実践する。 ③ 授業や様々な活動の中で意図的、計画的に学校図書館司書や ICT 支援員を有効的に活用していく。</p>	<p style="text-align: center;">0 20 40 60 80 100</p> <table border="1"> <tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>76.7</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td></td></tr> <tr><td>生徒</td><td>82.2</td></tr> </table> <p>【達成状況】 ・生徒、教職員ともに数値目標 80%以上を達成できた。教職員は 100%であった。</p> <p>【次年度の方針】 ・授業をはじめ校内の様々な活動の場において、意図的・計画的な ICT 機器や学校図書館等の活用の機会を設けていく。 ・情報活用センターとしての学校図書館の機能を有効に活用する。 ①ICT 機器の活用の年間指導計画への位置付け ③各教科や総合的な学習の時間をはじめとする学習での積極的な活用促進 ②図書館司書や ICT 支援員の有効活用</p>	教職員	100.0	保護者	76.7	地域住民		生徒	82.2
教職員	100.0										
保護者	76.7										
地域住民											
生徒	82.2										

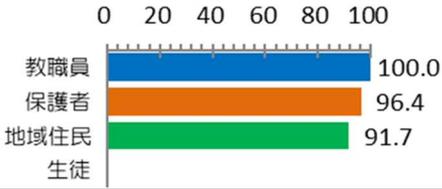
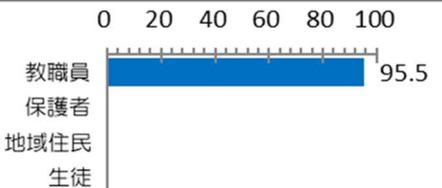
<p>2- (3) 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進</p>	<p>A9 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 生徒・教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 教科・領域の学習の中で、環境問題や防災等との関連を明確に位置付け、計画的に取り上げることで「持続可能な社会」に対する問題意識をもたせる。 ② ゴミの分別など、身近な実践を通して意義を理解させ、環境問題等への関心を高める。 ③ 生徒会活動とSDGsとの関連を見出し、実践を通して「持続可能な社会」への関心を高めさせる。 ④ 校内掲示物の工夫により、啓発活動を推進する。</p>	<p>0 20 40 60 80 100</p> <p>教職員 68.2 保護者 地域住民 生徒 76.6</p> <p>【達成状況】 ・生徒、教職員ともに数値目標 80%以上を達成できなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ・日常生活の中でSDGsや「持続可能な社会」を意識させる場面を創出し、関心を高めさせる。 ・係や専門委員会などと連携した学校生活における「持続可能な社会」への取組を意識的に計画し、推進していく。 ①教科・領域の学習内容との関連付け ②生徒会活動との連携 ③身近な生活からの意識の高揚 ④掲示物による啓発活動</p>
<p>3- (1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進</p>	<p>A10 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 隔週で行われる生徒指導部会及び教育相談部会で情報交換を行い、ケース会議を行うなど支援を要する生徒に対して、組織的対応の充実を図る。 ② SCMを中心に全校体制で取り組み、SCや校内教育支援センター支援員、教育センター等との連携を密にする。 ③ 個に応じた対応を適切にできるよう、引き続き外部機関と連携を図りながら組織的に対応していく。</p>	<p>0 20 40 60 80 100</p> <p>教職員 100.0 保護者 地域住民 生徒</p> <p>【達成状況】 ・数値目標 85%以上を達成できた。100%であった。</p> <p>【次年度の方針】 ・生徒の特性に応じた指導が行えるよう、教職員で連携しながら組織的な対応を継続して行っていく。 ・必要な支援を適切に実践できるよう、引き続き外部機関との連携強化を図っていく。 ①密な情報交換による組織的対応 ②全校体制での支援 ③多面的な視点での個に応じた対応 ④SCや校内教育支援センター支援員、外部機関等との連携強化</p>

<p>3-(2) いじめ・不登校対策の充実</p>	<p>A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上 保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 引続きいじめは許されない行為であることを指導するとともに、いじめの早期発見・対応のためにアンケートを定期的に行う。</p> <p>② 各種たよりやホームページ等に取組状況を公表し、啓発する。</p> <p>③ 生徒指導部会、教育相談部会の機能を生かして定期的にいじめ防止対策委員会を開催し、具体策を検討し学校全体で取り組む。保護者にも啓発していく。</p> <p>④ 生徒会を中心に、いじめゼロ集会を計画し、内容の充実を図る。</p>	<div style="text-align: right;">0 20 40 60 80 100</div> <table border="1"> <tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>80.0</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>生徒</td><td>93.5</td></tr> </table> <p>【達成状況】 ・生徒、保護者ともに数値目標を達成できた。</p> <p>【次年度の方針】 ・いじめは許されない行為であることを念頭に日々の指導に当たる。 ・引き続きいじめの早期発見、早期対応に努め、組織的な対応を推進する。 ①学校生活アンケート等の情報を教職員で共有。早期発見、早期対応。 ②保護者への啓発促進 ③各部会で共有した情報を基に、組織的対応を推進 ④生徒主体によるいじめゼロの啓発。</p>	教職員	100.0	保護者	80.0	地域住民	100.0	生徒	93.5
教職員	100.0										
保護者	80.0										
地域住民	100.0										
生徒	93.5										
	<p>A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 生徒・保護者・教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 職員間の連携を密に取りながら、教育相談部会を活用して生徒一人一人に応じた対応を学校全体で考え、取組を充実させていく</p> <p>② 宮っ子ダイアリーや教育相談、生徒アンケートなどからのさまざまな情報を有効活用し、生徒理解に努める。</p> <p>③ SCや校内教育支援センター支援員、教育センター等との連携を密にして、組織的対応を充実させる。</p> <p>④ 家庭との連携を密にする。</p>	<div style="text-align: right;">0 20 40 60 80 100</div> <table border="1"> <tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>91.5</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>96.3</td></tr> <tr><td>生徒</td><td>96.3</td></tr> </table> <p>【達成状況】 ・生徒、保護者、教職員ともに数値目標85%以上を達成できた。全て90%を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・全教職員で協力し、生徒への適切な支援を続けていく。 ・教育相談部会等を活用し、生徒一人一人に応じた対応を学校全体で考え、組織的対応を継続して行う。 ①教育相談部会を活用した、組織としての生徒支援の充実 ②教育相談等の有効活用 ③職員間での連携を密に、個に応じた対応を推進 ④SCや校内教育支援センター支援員との連携強化 ⑤家庭と連携を密に図る。</p>	教職員	100.0	保護者	91.5	地域住民	96.3	生徒	96.3
教職員	100.0										
保護者	91.5										
地域住民	96.3										
生徒	96.3										
<p>3-(3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実</p>	<p>A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p>	<p>① 特別活動において、生徒主体で行う活動の充実を図り、生徒の活躍の場の機会を増やす。</p>									

<p>3-(4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化</p>	<p>【数値指標】 生徒・教職員の肯定的回答 90%以上 保護者・地域住民の肯定的回答 85%以上</p>	<p>② 主体性や連帯感を育てるため、生徒が活動し活躍できる機会を意図的に作り、自己有用感をもたせる。 ③ 道徳の授業の充実を図り、心豊かな生徒の育成に努める。 ④ WEBQUの有効活用を図り、チームで学級経営の充実に努め、居心地のよい学級づくり、居がいのある学級づくりを推進する。</p>	<p style="text-align: center;">0 20 40 60 80 100</p> <p>教職員 100.0 保護者 88.1 地域住民 100.0 生徒 94.4</p> <p>【達成状況】 ・生徒、教職員は数値目標 90%以上を達成できた。また、保護者、地域住民も数値目標 85%以上を達成できた。</p> <p>【次年度の方針】 ・学級活動や学校行事において、生徒全員が主体的に取り組むことができるよう支援していく。 ・生徒同士がお互いの良さを認め合える居心地の良い学校及び学級づくりを行い、生徒が安心して生き生きと活躍できるよう支援していく。</p> <p>①各種行事の生徒主体での運営 ②生徒が協力して活動できる機会の創出 ③道徳科や学級活動の授業の充実。 ④WEBQU の活用。</p>
<p>4-(1) 教職員の資質・能力の向上</p>	<p>A14 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上 保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 宇都宮モデルに基づいた、分かる授業、楽しい授業を実践して生徒の学習意欲を高めていく。 ② T Tや習熟度別学習、かがやきルームの効果的な活用などで、個に応じた指導を工夫し、基礎・基本の定着を図る。 ③ 生徒個々の意欲を引き出すために、努力した点、成果が見られた点を意図的に称賛する。 ④ 各種学力調査等の結果や生徒一人一人の学習状況を分析して、指導の工夫を図り、個別最適な学びや協働的学びを充実させる。</p>	<p style="text-align: center;">0 20 40 60 80 100</p> <p>教職員 100.0 保護者 82.2 地域住民 生徒 91.6</p> <p>【達成状況】 ・生徒は数値目標 85%以上を達成できた。また、保護者も数値目標 80%以上を達成できた。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き、基礎基本の定着を図るとともに、分かる授業・楽しい授業の実践を目指して、指導の工夫に努めていく。 ・生徒一人一人の学習状況、資質・能力に着目して、個別最適な学びの充実を図る。</p> <p>①宇都宮モデルに基づく分かる授業の実践 ②PDCAサイクルの実践と改善 ③T Tや習熟度別学習、かがやきルームの効果的な活用 ④ICT 機器を有効に活用した協働的な学びの充実</p>

<p>4- (2) チーム力の 向上</p>	<p>A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 学校目標や学校経営の方針の共通理解のもと、校務分掌や校内組織等の再編制を図り、教職員一人一人が力を発揮しやすい職場づくりを目指す。 ② 単学級編制を見据えた校務分掌や専門性を有する学校スタッフの職務内容や活用方法の工夫を図りながら、チームで対応する。 ③ 管理職を中心に、風通しの良い職員関係を構築し、OJTを日常化させる。</p>	<p style="text-align: right;">A</p>  <p>【達成状況】 ・数値目標 85%以上を達成できた。</p> <p>【次年度の方針】 ・学校の教育力・組織力を高め、経営方針を具現化するためのチーム学校の実現を目指す。 ・個々の教職員が力を発揮できるような校務分掌、協働体制、サポート体制を充実させ、職場環境を整備する。 ①教職員一人一人が力を発揮しやすい校務分掌・組織の編成 ②専門スタッフとの連携・協働 ③風通しの良い職場作り、OJTの日常化 ④教育 DX を取り入れた業務改善の推進</p>
<p>4- (3) 学校における働き方改革の推進</p>	<p>A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 「働きやすさ」と「働きがい」の両立から業務改善や働き方改革を推進し、教職員一人一人の意識改革を図る。 ② 校務分掌や業務の見直しや削減を検討し、校務の効率化を図る。 ③ 部活動時間の適正化や地域移行等部活動改革を推進し、部活動の適正な運営に努める。 ④ 教育DX推進等により業務の効率化を図る。 ⑤ 保護者の理解を深めるよう啓発に努める。</p>	<p style="text-align: right;">B</p>  <p>【達成状況】 ・数値目標 80%以上を達成できなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ・業務改善や働き方改革の本質を確認し、教職員一人一人の意識改革を図る。 ・働きがいと働きやすさを両立した職場環境づくり、業務の効率化を推進していく。 ①出退勤時間の管理を通じた時間効率化の推進 ②同僚性、協働性を高め合う教職員同士のコミュニケーション促進 ③教育 DX の推進による業務の効率化 ④保護者への理解を促進する啓発活動</p>

<p>5- (1) 全市的な学校運営・教育活動の充実</p>	<p>A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 生徒・保護者・地域住民・教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 小中の連携を密にし、更なる組織の充実を図り、キャリア教育の視点から9年間の学びのつながりや9年間を見通した指導について協議し、実践→検証を推進する。 ② あいさつ運動・冒険活動教室・中学校訪問など、小中生が協働したり交流したりする合同行事の充実を図る。 ③ 小中の教職員の交流を深めることで、相互理解を図り、協働して研究を進める体制を充実させる。 ④ 活動状況を周知する方法を工夫し、意識の向上を図る。</p>	<p style="text-align: center;">0 20 40 60 80 100</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>教職員</td> <td style="text-align: right;">95.5</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td style="text-align: right;">92.7</td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td style="text-align: right;">91.7</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td style="text-align: right;">90.7</td> </tr> </table> <p>【達成状況】 ・生徒、保護者、地域住民、教職員ともに数値目標 85%以上を達成できた。全て90%を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・小学校との連携を図りながら、更なる取組の充実を図っていく。 ・小中の連携を密にし、9年間の学びのつながりや9年間を見通した指導について、実践→検証を推進する。 ①9年間の系統性を生かしたカリキュラムの実施 ②各会議や部会を通じた、取組への共通理解や教職員の授業力・指導力の向上 ③小・中学生の交流活動の推進 ④PDCAサイクルの充実</p>	教職員	95.5	保護者	92.7	地域住民	91.7	生徒	90.7
教職員	95.5										
保護者	92.7										
地域住民	91.7										
生徒	90.7										
<p>5- (2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進</p> <p>5- (3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進</p>	<p>A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 生徒・保護者・地域住民・教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 地域未来塾、地域未来会議、あいさつ運動等・家庭や地域と協働・連携する取組を計画的に実施し、交流を促進させる。 ② 「働く人に学ぶ」や社会体験学習(宮っ子チャレンジ)において、地域との連携を深める。 ③ 地域行事への生徒の積極的なボランティア参加を推奨する。 ④ 保護者会や学校公開の活用、学校だよりなどの各種通知や学校ホームページでの情報発信の充実などを通して、開かれた学校づくりを推進する。 ⑤ 地域協議会と連携し、情報の共有や学校運営参画機能の充実を図り、地域全体で学校をつくっていく体制を構築する。</p>	<p style="text-align: center;">0 20 40 60 80 100</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>教職員</td> <td style="text-align: right;">100.0</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td style="text-align: right;">89.3</td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td style="text-align: right;">100.0</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td style="text-align: right;">86.9</td> </tr> </table> <p>【達成状況】 ・生徒、保護者、地域住民、教職員ともに数値目標 85%以上を達成できた。</p> <p>【次年度の方針】 ・家庭や地域と協働・連携する取組を計画的に実施し、内容の更なる充実化を図る。 ・積極的に学校を公開したり、情報を発信したりすることで、地域に開かれた学校づくりを推進する。 ①保護者会や学校公開の活用 ②地域未来会議、あいさつ運動等での交流促進 ③学校だより等の各種たよりや学校ホームページでの情報発信の充実 ④地域協議会との連携の充実 ⑤地域の催事等への積極的な生徒参加促進</p>	教職員	100.0	保護者	89.3	地域住民	100.0	生徒	86.9
教職員	100.0										
保護者	89.3										
地域住民	100.0										
生徒	86.9										

<p>6-(1) 安全で快適な学校施設整備の推進</p>	<p>A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 保護者・地域住民・教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 月1回の安全点検や日常の確認を通して、異常箇所の早期発見・修繕を行い、安全管理の徹底を図る。 ② 避難訓練や安全教育を通して、常に見直しを図りながら、実用的な危機管理マニュアルの策定に努める。 ③ 安全点検を確実に実施し、修繕が必要な箇所は迅速に対応する。</p>	 <p>0 20 40 60 80 100</p> <p>教職員 100.0 保護者 96.4 地域住民 91.7 生徒</p> <p>【達成状況】 ・保護者、地域住民、教職員ともに数値目標 85%以上を達成できた。全て 90%を上回った。</p> <p>A 【次年度の方針】 ・引き続き、安全指導の見直し、安全管理の徹底を図り、事故等の未然防止に努める。 ・危機管理マニュアルの見直しを随時行い、実用的運用を徹底する。 ①安全点検の確実な実施と日常の安全確認の徹底 ②修繕が必要な箇所への迅速な対応 ③実用的な危機管理マニュアルの見直しと運用</p>
<p>6-(2) 学校のデジタル化推進</p>	<p>A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① ICT 機器を有効活用して、個別最適な学び、主体的な学び、協働的な学びを実現する授業を工夫する。 ② 職員研修、授業研究会を通して、有効な機器の活用方法や生徒への指導について語り合い、教職員の資質向上を図る。 ③ ICT 機器を活用した指導の充実を図るため、ICT 支援員との協働による研修や教材開発の充実に努める。</p>	 <p>0 20 40 60 80 100</p> <p>教職員 95.5 保護者 地域住民 生徒</p> <p>【達成状況】 ・数値目標 90%以上を達成できた。</p> <p>A 【次年度の方針】 ・生徒の充実した学びの実現に向けた ICT 機器の効果的な活用を図るため、教職員の更なるスキルアップや資質能力向上を図る。 ①ICT 機器を有効活用した個別最適な学び、主体的な学び、協働的な学びの実現 ②職員研修や授業研究の充実 ③ICT 支援員との協働による教材開発 ④教科を越えた ICT 活用授業の共有</p>

小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	<p>B1 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 生徒・地域住民・教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① あいさつ運動の更なる充実を目指すとともに、教師からの率先垂範によりあいさつの強化を図る。 ② 普段の授業の中で、学業指導の充実を図り、語先後礼やTPOを意識したあいさつの励行を推進する。 ③ 生徒会の取組を活性化し、晃陽地域学校園あいさつ運動を定期的実践する。 ④ 生徒会の組織を活用したあいさつ運動を計画的に実施し、充実を図るとともに、スローガンを作成するなど啓発する。</p>	<p style="text-align: center;">0 20 40 60 80 100</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>教職員</td> <td style="text-align: right;">100.0</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td style="text-align: right;">96.7</td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td style="text-align: right;">100.0</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td style="text-align: right;">96.3</td> </tr> </table> <p>【達成状況】 ・生徒、地域住民、教職員ともに数値目標 90%以上を達成できた。</p> <p>A</p> <p>【次年度の方針】 ・明るく爽やかなあいさつができるよう、更なるあいさつの充実および励行を推進する。 ①教師による模範的なあいさつの実践 ②語先後礼やTPO等具体的なあいさつの「型」の提示 ③地域学校園や生徒会によるあいさつ運動の拡充・活性化 ④来校者などへのあいさつの励行</p>	教職員	100.0	保護者	96.7	地域住民	100.0	生徒	96.3
	教職員	100.0									
	保護者	96.7									
地域住民	100.0										
生徒	96.3										
<p>B2 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 生徒・教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 生活の一日の決まりやチャイム着席など授業時の約束事(準備・姿勢・返事)を実践させ、規律ある生活のリズムを身に付けさせる。 ② 学級活動や道徳科の授業などで、きまりやマナーを守ることの意義を理解させる。 ③ きまりを守る意義や合意形成によって納得解を得ることの大切さについて、指導の充実を図る。 ④ 生徒会活動の充実を図り、生徒主体の校則の見直しを推進する。</p>	<p style="text-align: center;">0 20 40 60 80 100</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>教職員</td> <td style="text-align: right;">100.0</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td style="text-align: right;">93.3</td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td style="text-align: right;">75.0</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td style="text-align: right;">93.5</td> </tr> </table> <p>【達成状況】 ・生徒、教職員ともに数値目標 90%以上を達成できた。</p> <p>A</p> <p>【次年度の方針】 ・生徒の規範意識を向上させ、安心・安全な学校生活を送れるよう指導していく。 ①規律ある学校生活を送れるよう指導を充実 ②学級活動や道徳科の授業の充実 ③生徒主体での校則の見直し ④登下校時のマナーの指導</p>	教職員	100.0	保護者	93.3	地域住民	75.0	生徒	93.5	
教職員	100.0										
保護者	93.3										
地域住民	75.0										
生徒	93.5										
<p>B3 地域の様々な人々とのふれあいを大切にした活動をしている。 【数値指標】 生徒・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 総合的な学習の時間に、富屋特別支援学校や高齢者福祉施設等での交流・体験活動を系統的に位置づけ、福祉教育の推進を図る。 ② 地域の事業所での職場体験や地域の講師によるお囃子の演奏など、地域の方との交流を通して、地域理解を深める。 ③ 地域行事への生徒参加を奨励し、地域社会の一員である自覚を高める。 ④ ホームページや各種たよりを活用して、情報発信の充実を努める。</p>	<p style="text-align: center;">0 20 40 60 80 100</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>教職員</td> <td style="text-align: right;">100.0</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td style="text-align: right;">91.1</td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td style="text-align: right;">100.0</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td style="text-align: right;">94.4</td> </tr> </table> <p>【達成状況】 ・生徒、保護者、地域住民ともに数値目標 80%以上を達成できた。</p> <p>A</p> <p>【次年度の方針】 ・地域の交流活動等への参加の充実を図るとともに、様々な体験活動を推進し、活動後の情報発信に努めていく。 ・地域とのつながりに気づかせ、地域行事やボランティア活動への興味関心を高め、積極的な参加を奨励していく。 ①地域の学校間や団体等との交流促進 ②地域行事への生徒参加の奨励 ③地域交流に関する情報発信の充実 ④「宇都宮学」等の地域学習の充実</p>	教職員	100.0	保護者	91.1	地域住民	100.0	生徒	94.4	
教職員	100.0										
保護者	91.1										
地域住民	100.0										
生徒	94.4										

	<p>B4 児童生徒は、何かをする時、見通しをもって計画的に進めたり、そのやり方などについて改善を図ったりしている。</p> <p>【数値指標】 生徒・保護者・教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 将来への見通しがもてるように、学校教育全般にわたって計画的、系統的にキャリア教育を推進する。</p> <p>② 地域とのつながりを意識させ、地域の行事やボランティア活動への興味・関心を高め積極的に参加するよう奨励に努める。</p> <p>③ 小学校と連携し、キャリアパスポートの有効的な活用を図る。</p>	<div style="text-align: right;">0 20 40 60 80 100</div> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>教職員</td><td>77.3</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>85.2</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>10...</td></tr> <tr><td>生徒</td><td>88.8</td></tr> </table> <p>【達成状況】 ・生徒、保護者は数値目標 80%以上を達成できたが、教職員は達成できなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ・将来への見通しがもてるように、学校教育全般にわたって計画的、系統的にキャリア教育を推進していく。 ・学習活動や特別活動において、短期目標、中期目標を立て、目標達成に向けて計画をするような活動を増やす。</p> <p>①計画的・系統的なキャリア教育の実践 ②キャリアパスポートの有効活用 ③短期目標、中期目標を立て、目標達成に向けて計画するような活動推進</p>	教職員	77.3	保護者	85.2	地域住民	10...	生徒	88.8
教職員	77.3										
保護者	85.2										
地域住民	10...										
生徒	88.8										

【総合的な評価】

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【数値目標から】

全体的な結果をみると、目標とする数値指標と比較して、教職員は20指標項目中16項目（全て5pt以上）、生徒は19指標項目中17項目（内：12項目は5pt以上）、保護者は13指標項目中13項目（内：8項目は5pt以上）、地域住民は6指標項目中6項目全て（全て5pt以上）が上回っており、高評価であった。

特に、(A2) (A3) (A4) (A5) (A7) (A8) (A10) (A11) (A12) (A13) (A14) (A15) (A17) (A18) (A19) (A20) (B1) (B3) の18項目は数値目標を完全に達成することができた。

☆数値指標を上回った項目（黄色の網掛けは5pt以上）

【教職員】(A2) (A3) (A4) (A5) (A6) (A8) (A10) (A12) (A13) (A15) (A17) (A18) (A19) (A20) (B1) (B2)

【生徒】(A1) (A2) (A3) (A4) (A5) (A7) (A8) (A11) (A12) (A13) (A14) (A17) (A18) (B1) (B2) (B3) (B4)

【保護者】(A2) (A3) (A4) (A7) (A11) (A12) (A13) (A14) (A17) (A18) (A19) (B3) (B4)

【地域住民】(A13) (A17) (A18) (A19) (B1) (B3)

★数値目標を5pt以上下回った項目

【教職員】

A1「児童生徒は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。」
（-7.7 pt）

A9「児童生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。」（-11.8 pt）

今年度は、教職員と生徒の結果を比較して10pt以上差があった項目が24項目中4項目であった。教職員が成果として捉えている内容を、生徒も実感できるように意図的にフィードバックした成果が表れている。

☆教職員と生徒の結果で10pt以上の差が解消された項目（A14）（B3）

★教職員と生徒の結果で10pt以上差があった項目

A6「児童生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。」教95.5%、生84.1% 差11.4pt
（昨年度より7.4pt縮まっている）

A8「児童生徒は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。」教100%、生82.2% 差17.8pt
（昨年度より6.1pt縮まっている）

○A18「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」
教100%、生86.9% 差13.1pt（昨年度より昨年度より6.3pt縮まっている）

B4「生徒は、何かをする時、見通しをもって計画的に進めたり、そのやり方などについて改善を図ったりしている。」
教77.3%、生88.8% 差11.5pt

【前年度との比較から】

前年度と比較して、生徒は19項目中15項目（内：10項目は5pt以上）、保護者は17項目中14項目（内：8項目は5pt以上）、地域住民は11項目中6項目（内：5項目は5pt以上）が上回っており、学校全体で、指導の充実や昨年度の課題改善に取り組んできた成果が表れる良い結果となった。反面で、教職員は、24項目中8項目（内：4項目は5pt以上）が上回るにとどまり、前年度を下回る項目の方が多く、課題が残った。

☆前年度を上回った項目（黄色の網掛けは5pt以上）

【教職員】(A3) (A10) (A15) (A19) (A20) (B1) (B2) (B3)

【生徒】(A1) (A2) (A3) (A5) (A6) (A7) (A8) (A12) (A14) (A17) (A18) (B1) (B2) (B3) (B4)

【保護者】(A1) (A2) (A4) (A7) (A8) (A11) (A12) (A14) (A17) (A19) (B1) (B2) (B3) (B4)

【地域住民】(B1)

★前年度を5pt以上下回った項目

【教職員】

A1「児童生徒は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。」

(82.6%⇒77.3% (5.3pt↓))

B4「生徒は、何かをする時、見通しをもって計画的に進めたり、そのやり方などについて改善を図ったりしている。」

(82.6%⇒77.3% (5.3pt↓))

※前年度を5pt以上下回った項目は激減した。

【地域住民】

A4「児童生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。」(100%⇒91.7% (8.3pt↓))

○A17「学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」(100%⇒91.7% (8.3pt↓))

B2「児童生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。」94.4%⇒75.0% (19.4pt↓)

【市内中学校平均との比較から】

市内中学校平均と比較して、教職員は22指標項目中18項目（内：5項目は5pt以上）、生徒は17項目中11項目（内：6項目は5pt以上）、保護者は15項目中14項目（内：4項目は5pt以上）、地域住民は9項目中5項目が上回っており、良い結果であった。

☆市内中学校平均を上回った項目（黄色の網掛けは5pt以上）

【教職員】(A2) (A3) (A4) (A6) (A7) (A8) (A10) (A11) (A12) (A13) (A14) (A15) (A17) (A18) (A19) (A20) (B1) (B2)

【生徒】(A1) (A2) (A3) (A4) (A5) (A6) (A7) (A8) (A12) (A17) (A18)

【保護者】(A1) (A2) (A3) (A4) (A7) (A8) (A12) (A13) (A14) (A17) (A18) (A19) (B1) (B2)

【地域住民】(A2) (A11) (A13) (A18) (B1)

★市内中学校平均を5pt以上下回った項目

【教職員】

A1「児童生徒は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。」

(77.3%—市90.5% 13.2pt↓)

A9「児童生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。」

(68.2%—市73.3% 5.1pt↓)

【地域住民】

A4「児童生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。」(91.7%—市99.7% 8.0pt↓)

○A17「学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」(91.7%—市97.8% 6.1pt↓)

A19「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」(91.7%—市97.0% 5.3pt↓)

B2「児童生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。」(75.0%—市92.6% 17.6pt↓)

7 学校関係者評価

【よかったこと】

○全体的に教職員、保護者、地域住民とも、生徒の資質能力の向上のために協力していて、年々目標達成する項目が多くなってきている。

○外部講師（ダイヤモンド☆ユカイ氏）の授業でも、生徒は生き生きと自分の考えを述べていて立派でした。

○小学校へのあいさつ運動では、朝早くから元気にあいさつを行い、小学生に対して模範となる態度でした。

- 富屋地区の体育祭での手伝いも、とても一生懸命活動し、地域貢献していました。
- 地域未来会議では、生徒がきちんと自分の意見を言うことができ立派でした。
- 「地域未来会議」という会議に初めて参加しました。テーマをしぼって「たくましさ」について語り合ったことで、現状の共有もできました。生徒さんたちの考え方がしっかりしていることに驚きました。意見交換が有効と感じました。A5「生徒は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。」にもつながる良い取組だと思います。
- 通学路についての情報をいただけたことで、小学校の指導にも生かせることが多いと感じました。(B2「児童生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。」の地域住民の評価が低いのは、しっかり見つめたからこそだと思います。)
- 明るく楽しく活動している様子がうかがえます。
- 引き続き思いやりのある生徒達が多く、嬉しく思います。
- 生徒は思いやりをもって、協力して学校生活を送っていると思います。
- あいさつに関する項目のポイントが高かったこと。もしかすると、学力よりもずっと大切なことだと思います。
- 我々の見方が厳しくなり、生徒の皆さんのさらなる資質能力向上につながると思います。
- 市平均よりも肯定的評価が上回っている評価項目についてはよかったです。
- 富屋のふるさとまつり、ファイトとみや等、中学生の協力、笑顔が見られてよかった。
- 学習のレベルが上がっている話、子どもたちの成長を感じました。

【課題と思われること】

- B2「児童生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。」の評価が下がっていることが心配。
- 小学生の模範となるように自転車の乗り方に注意しましょう。
- B2「児童生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。」→教職員と地域住民との間にズレがある。校内と校外など、見ているところが違うのだろうか。
- 生徒のきまりやマナーについて気付いたことは、声をかけてもよいのではないかと思います。
- 「探究心を育む」「自分の意見を言える」「人の意見を聞くことができる」能力を育成すること。
- 街中の同世代の子達と、交通や店舗、図書館等の公共施設などの環境が違い、見聞きや経験できることに差がありすぎる。
- 「自分の役割を理解して実行できるか」が課題。
- 自転車通学のノーヘル問題については、先ず親世代がヘルメットをかぶる努力をすべきだと思います。
- SNSの指導については、親世代が、子供のスマホに対しブロックやアプリ規制を先に進んですべきだと思います。
- 個人差があるが、自転車のマナーが守られていない子が見られる(ノーヘル、信号無視、通学路を通らない、並進、ごみのポイ捨てなど)。
- 小中一貫のあいさつ運動は良い活動だと思うが、安全性を考慮してだろうが固まって並んでの活動となっているので、少し離れて、分かれて行った方がよいように感じている。
- A9「児童生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。」→学習の中で学んでいるはずだが、うまく関連付けられていないのはなぜか。課題と感じました。
- 部活動数の少なさがあると思います。富屋の自治会に入っているのに、新里住所の人は富屋小から国本中に行ってしまう事例があります。生徒数の少なさに拍車がかかってしまいます。
- 部活動、特に運動部の今後はどうなるのか。

【学校運営に関するご意見・ご要望】

- ◇生徒数が減少し、教員数が減る中、先生方にも負担増となってしまうと思いますが、行事内容等うまく取捨選択して、先生方が心身ともにゆとりのある学校運営にしてほしいと思います。
- ◇単学級のメリット、デメリットがあると思いますが、メリットを伸ばす学校運営をお願いします。
- ◇学校評価書は事前にいただきたい。
- ◇各校とも共通する事項となるが、評価の仕方について、個別具体的な評価をもって総合評価としている点で不十分さを感じる。通常、総合的に評価するとなると施策単位での評価となると思うが、それがなされていないため、設定されている「教育目標」に対して、生徒の実像が把握されにくくなっていると思う。
- ◇学校だよりの提供をいただき、ありがとうございます。運営状況がよく分かりました。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・全体的に教職員、生徒、保護者、地域住民が協力し、学校全体で、指導の充実や昨年度の課題改善に取り組んできた成果が表れている。目標とする数値指標と比較して、教職員は20指標項目中16項目、生徒は19指標項目中17項目、保護者は13指標項目中13項目、地域住民は6指標項目中6項目が上回っており、高評価であった。
- ・前年度と比較して、今年度は、生徒は19項目中15項目、保護者は17項目中14項目、地域住民は11項目中6項目で肯定的回答が上回っており、学校全体で、生徒が成長を実感できるような指導の工夫、保護者へのフィードバック、地域への情報発信等の課題改善に取り組んできた成果が表れる良い結果となった。次年度も、今年度の結果を各学年や各部会において学校経営ビジョンや取組の重点、努力点を共有し、具体策を確実に推進することで更なる教育活動の効果を高めていきたい。
- ・(A10)(A11)(A12)(A13)(A14)(A15)といった、教職員が直接、生徒の指導にかかわっている項目に関しては、教職員の肯定的回答は100%を占め、生徒の肯定的回答は90%以上であった。全校体制で教職員が、生徒一人一人を大切にし、生徒の実態に応じたきめ細やかな指導、小規模校の強みを生かした個別最適な指導を積み重ねてきた結果といえる。指導の方向が適切であったことや、具体的な取組の有効性が再確認できた。来年度以降も、「一人一人に目が届く」「一人一人に役割を与えて自己実現の機会を作れる」などのメリットを生かし、継続して「生徒が安心して力を発揮できる学校づくり」を目指し、指導の充実を図っていきたい。
- ・昨年度は、教職員の回答と保護者との回答の乖離が見られたが、生徒が安心して力を発揮できる学校づくりを目指し、学校で取り組んでいる内容を丁寧に情報発信し、保護者への理解を促進したり、保護者と協力して教育活動の効果をあげる取組を推進したりした結果、保護者の肯定的回答が12項目にわたって昨年度を上回り、教職員の回答との乖離を大幅に減らすことができた。保護者との連携を密にすることで教育効果を高めることができた。
- ・「(A15)学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」では、前年度比+17.4ptの100%を達成することができた。小規模校の強みを生かして、学年等の枠にとらわれることなく全教職員で全生徒を指導し、育てる意識を共有することができた成果であると考え。また、分掌部会を活用した組織的対応、SCや校内教育支援センター支援員、外部機関と連携したチーム対応が効果的だったと考える。次年度以降も小規模校の強みを生かし、学年の枠を越えて全職員の協力体制を整え、チーム昇陽で生徒を育てていくことが大切であると考え。
- ・教職員の肯定的回答が前年度を上回った項目は、24項目中8項目であり、前年度を下回る項目の方が多かった。課題改善に関する取組や努力の効果、生徒の成長を全教職員で共有し、成果を実感することで、教職員の働きがいやウェルビーイングの向上につなげていきたい
- ・「(A16)勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」に関しては、前年度比-1ptで、依然課題の残る結果であった。来年度も継続して、会議の持ち方の工夫や朝の打合せの工夫、教育DX推進等に取り組むとともに、業務改善や働き方改革の本質を確認し、教職員一人一人の意識改革を図っていきたい。
- ・「(B2)児童生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。」に関する地域住民の肯定的回答が、前年度比-19.4pt、市中学校平均との比較-17.6ptであった。登下校の自転車の乗り方等の実態が影響していると考えられる。保護者や地域住民、自治会等の地域の機関との連携を図り、校外における生徒の実態を適切に理解し、公共マナーや交通マナーの指導を強化していきたい。地域に愛される生徒を育て、地域とともにある学校づくりを一層推進していきたい。
- 「(A21)学校は、『小中一貫・地域学校園』の取組を行っている。」では、地域学校園で各部会の指標を定め、達成のための具体策や努力点を協議して重点化し、小中連携を深めることができた。また、生徒会を中心に行っている小中合同あいさつ運動、中学校教員による乗り入れ授業などの交流活動を促進することができた。小中一貫教育で実践している活動の宣伝、PR、啓発を推進し、積極的に情報発信していきたい。
- 「(A18)学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」では、今年度も地域未来会議を開催し、「たくましさ」について、地域住民と交流を深めることができた。学校関係者評価でも好評を得ているので、来年度も地域未来会議を拡充し、多くの生徒、地域協議会委員、PTAが関わるようもち方を工夫したい。